・　また、受発注管理、販売管理、生産管理、業務管理、顧客管理、勤怠管理、会計等の一般化された業務について、導入が容易なパッケージソフトやクラウドサービス等のＩＴを利活用する等して内部業務を効率化し、より付加価値の高い業務に人員を配置することで生産性を向上させることができる。

・　なお、ＩＴの利活用に当たっては、セキュリティソフトを導入しソフトウェアの更新を行う等、セキュリティ対策に留意する必要がある。

・　このほか、コスト削減及び生産性向上の観点からエネルギー効率を高めることが重要であり、省エネルギー対策を実施することで、売上を伸ばすと同時に継続的に利益を得ることが可能となる。具体的な対策としては、エネルギー使用量の見える化、設備の稼働時間の調整や最適管理（設備の有効利用）、省エネルギー設備の導入、エネルギー管理体制の構築等が有効であり、これらを省エネルギー診断の活用等を通じて積極的に行う。

・　更なる先進的な取組みとしては、情報技術やセンシング技術等を最大限利活用することにより、①デジタル設計ツール（３Ｄ　ＣＡＤ・ＣＡＭ等）の導入、②自動化の更なる進展、③人の動きや作業の自動データ化、④３Ｄ画面やウェアラブル機器、アシストスーツ等による現場技能者の身体・判断能力を実質的に高めるための装備の導入、⑤部品管理の効率化、⑥構外事業者との連携、⑦ロボットの活用（人が行う業務を代替又は支援するロボットの導入、既存の設備のより高性能なロボットによる代替、又はそれらのロボットを増設すること等ができるロボットの導入）等による船舶産業における製造プロセスの革新等も有効である。

ニ　人の力（人材確保・人材育成）

・　教育機関とのネットワークを構築するほか、職場体験・インターンシップや船舶産業のＰＲの強化等により、船舶産業の魅力の向上・発信を行い、これらの業界を志す若年層の拡大を図ることにより人材確保に努める。

・　また、若手人材の能力を効率的に向上させるため、地域の技能向上拠点の活用や、企業間で連携して技能研修を行う等の体制強化を行う。

・　さらに、ＩＴを利活用して製品の付加価値を高めることが人手不足の緩和や経営力の向上につながることから、社内のＩＴ人材を育成することは非常に重要である。社内でのＩＴ人材の確保が困難な場合には、外部の専門家を活用することが有効である。

・　このほか、優秀な技能者の表彰等による適切な評価、女子寮や社内育児所の設置や労働安全衛生環境マネジメントシステムの導入等により、就労環境の改善に取り組む。

3　規模別の整理

イ　小規模事業者（従業員数20人未満）

・　小規模事業の特徴は、業績や経営戦略が極めて多様であり、優れた事業者も多数存在していることである。

・　小規模事業者の課題としては、少ない人手で最大限の効果を上げることが挙げられる。

ロ　中規模事業者（従業員数20人以上300人未満）

・　20人以上300人未満の中規模事業者においては、規模の増大に伴い労働生産性が順当に高まる傾向にある（経済産業省「工業統計」）。自社の強みを伸ばしながら、規模を拡大していくことが有効であると考えられる。

ハ　中堅事業者（従業員数300人以上2,000人未満）

・　300人までは規模の増大に伴い労働生産性が高まるが、300～999人の中規模企業では規模の拡大に労働生産性の向上が必ずしも伴っていない（経済産業省「工業統計」）。単なる規模の拡大だけではなく、業務の標準化を前提としたＩＴやロボット等への設備投資や省エネルギーの推進をより積極的に行うことが必要であると考えられる。

上記の状況を踏まえ、推奨する経営力向上の実施方法を以下の表にまとめる。

分類	小規模事業者	中規模事業者	中堅事業者
１．製品・サービスの力（製品の高性能化・引き渡し後のサービス向上）	・新たな基準・規格に対応した新製品の開発・投入 ・模倣品の流通対策（純正品ラベルの活用）（舶用工業）	・省エネ船舶、舶用工業製品の開発（省エネ標準船型の利活用等） ・新たな基準・規格に対応した新製品の開発・投入 ・模倣品の流通対策（純正品ラベルの活用）（舶用工業）	・省エネ船舶、舶用工業製品の開発（ＣＦＤの利活用等） ・船陸間通信の活用による船舶故障の予防保全、メンテナンスの合理化 ・新たな基準・規格に対応した新製品の開発・投入 ・模倣品の流通対策（純正品ラベルの活用）（舶用工業）
２．拓く力（新規市場開拓・進出）	・新規顧客獲得に向けた、他企業との連携 ・ホームページ開設等による地域へのＰＲ	・海外への販路拡大に向けた、海外営業力の強化	・海外への販路拡大に向けた、海外営業拠点の開設等 ・パッケージ化による商品力向上及び当該商品の営業力向上（舶用工業）
３．造る力（生産効率・品質の向上）	・工場・事業場の省エネ設備投資 ・生産設備の更新、最新化	・工場・事業場の省エネ設備投資 ・生産工程の俯瞰、生産効率向上に繋がる箇所の特定及び効率改善設備導入 ・ドックヤードの全天候型化、クレーン、フォークリフトの大型化・高性能化 ・ＩＴ・ロボットの利活用（３Ｄ　ＣＡＤ、部品管理の効率化等）	・工場・事業場の省エネ設備投資 ・生産工程の俯瞰、生産効率向上に繋がる箇所の特定及び効率改善設備導入 ・ドックヤードの全天候型化、クレーン、フォークリフトの大型化・高性能化 ・ＩＴ・ロボットの利活用（３Ｄ　ＣＡＤ・ＣＡＭ、現場での３Ｄ図面やアシストスーツの導入、レーザースキャナ等による生産品質管理、人の動きや作業の自動データ化、部品管理の効率化）
４．人の力（人材確保、人材育成）	・女性活躍、就労環境の改善 ・地域の技能向上拠点の活用による若手人材育成 ・ホームページ開設等による地域へのＰＲ	・女性活躍、就労環境の改善 ・地域の技能向上拠点の活用による若手人材育成 ・教育機関との連携（インターンシップ等） ・優秀な技能者の適切な評価	・女性活躍、就労環境の改善 ・地域の技能向上拠点の構築、拡充による若手人材育成の体制構築 ・教育機関との連携（インターンシップ、共同研究等） ・優秀な技能者の適切な評価 ・メディア広告等による積極的な広報